

徳島大学

医歯薬学研究部 公開シンポジウム

ポストLEDと医光連携

2019年

日時

11月18日月 17:30~19:30

会場

藤井節郎記念ホール

プログラム (敬称略)

司会 常山 幸一、米村 重信

安井 武史 次世代の光を用いた医学応用の可能性

加治佐 平 医療とデバイスをつなぐインターフェース

司会 武田 憲昭、橋本 一郎

高成 広起 細胞や組織のラベルフリー・イメージング:臨床応用を目指した研究

北村 嘉章 アレルギー性鼻炎に対するナローバンドUVB光線療法

司会 赤池 雅史、高山 哲治

六車 直樹 がんを標的とした分子イメージング内視鏡の開発と新たな治療展開

岡久 稔也 産官学連携による次世代アフェシスシステムの開発

主催 大学院医歯薬学研究部、共催:ポストLEDフォトンクス研究所

■ 医歯薬学研究部長 苛原 稔

近年の医学・医療系分野の進歩は目覚ましいものがあります。応用科学である以上、その進歩には他領域の素晴らしい成果の導入が必要です。特に、工学系分野の成果の利用は欠くべからざるものです。徳島大学は医歯薬学分野と理工学分野を持つ総合大学であり、医工連携研究はその強みを活かせる領域と考えられます。しかし、その動きはまだ不十分であり、これから医工連携研究をより活性化するには、連携研究の意義と重要性を認知する必要があります。その意味から、今回のシンポジウムが本学の医工連携の推進に結びつくことを期待しています。

■ 医学部長 赤池 雅史

世界と地域の諸問題を解決していくために、サイエンティストはその専門領域を超えて連携することが強く求められています。しかし、学際的研究は研究費を獲得しづらいことや研究成果が認められるまでに時間がかかることが報告されており、強力な組織的バックアップが必要です。本学では研究クラスターにより学際的研究が活発に推進されており、特に今回のテーマである医光連携研究は、徳島大学における医学系・工学系の強みを活かした特徴のあるものです。今回の公開シンポジウムによって、この研究領域のより一層の活性化を期待しています。

本シンポジウムは大学院特別講義(医科学、口腔科学、栄養生命科学教育部)とクラスターコアセミナーを兼ねています。